

東京地区会 Meetup セミナー 開催



令和元年10月8日、TJKプラザ多目的ルームにおいて、東京A・B・C・D 4地区会合同(主催：山田英司東京C地区会代表幹事／日本電子計算(株) 代表取締役社長)で、東京地区会Meetupセミナーを開催し、110名が参加した。

本セミナーでは、コクヨ(株) クリエイティブセンター 主幹研究員 山下正太郎氏による講演「グローバルテクノロジートレンドから考察する働き方の未来」と、独立行政法人情報処理推進機構 参与 室脇慶彦氏による講演「2025 年問題～未来に繋げる解決策」が行われた。

国内外の働き方を取り巻くトレンドや、未来について研究している山下氏は、海外の事例を多数紹介し、「あらゆるもののデータを収集、最適化してアプリで管理して繋げていくという基本的な流れは、最終的にはオフィスだけではなく都市レベルになることが予想され、主観的な意味やメッセージを受け取れるような空間、体験デザインが重要になってくる。」と語った。



コクヨが発信する『WORKSIGHT』編集長も兼務する山下氏



長年、大手ベンダーで大規模システムに携わってきた室脇氏は、「多くの経営者がデジタル・トランスフォーメーション(DX)の必要性について理解してはいるが、経営と IT システムの 2 つの問題を抱えている。」とした上で、IT システムについて「対応スピードが求められ、ウォーターフォールモデル開発では対応できない。SOE と SOR は、IT システムの『両輪』であり、バランスよく対応することが必要。」と語り、米国の IT システムの状況や日本企業が抱える既存システムの課題についても解説した。

(赤尾)